

【別紙】

品 名	形状寸法	数量	単位
消火栓ボックス材料(鉄蓋角型)	角型1号	2	個
消火栓ボックス材料(調整リング)	角型1号 H=50	2	個
消火栓ボックス材料(上部壁)	角型1号 200A	2	個
消火栓ボックス材料(中部壁)	角型1号 100B	4	個
消火栓ボックス材料(下部壁)	角型1号 400CN	2	個
消火栓ボックス材料(底板)	角型1号	2	個

角形鉄蓋仕様詳細

1 適用範囲

この仕様書は、大阪広域水道企業団の水道センターが使用する角形鉄蓋（以下、「鉄蓋」という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この仕様書に引用されることによって、この仕様書の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JWWA B 133 水道用角形鉄蓋

JIS B 0205-4 一般用メートルねじー第4部：基準寸法

JIS B 7502 マイクロメータ

JIS B 7503 ダイヤルゲージ

JIS B 7507 ノギス

JIS B 7512 鋼製巻尺

JIS G 5502 球状黒鉛鋳鉄品

JIS Z 2201 金属材料引張試験片

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

JIS Z 2243 ブリネル硬さ試験－試験方法

JIS Z 8401 数値の丸め方

3 定義

この仕様書で用いる主な用語の定義は、次による。

- a) 鉄 蓋：蓋と受枠との総称。
- b) 急勾配受け：蓋と受枠との接触面を急勾配とし、嵌合させた際の蓋のがたつきを防止した構造。
- c) 蝶 番：蓋と受枠とを連結し、蓋を開閉するときに転回の中心として作用する金具。
- d) 閉 塞 蓋：雨水及び土砂の流入を少なくするため、蓋の開閉用穴を自動的に塞ぐ小蓋。
- e) 形式試験：鉄蓋がその設計によって、決定された形式どおりに作られているかどうかを確認するための試験。なお、形式とは性能、構造、形状及び寸法。

4 種類

鉄蓋はT-25 荷重仕様とし、その種類は表1のとおりとする。

表1 鉄蓋の種類

種類	適用
1号 (500×400)	空気弁用、消火栓用
小型 (440×330)	空気弁用、消火栓用

5 性能

鉄蓋の性能は、日本水道協会規格 (JWWA B 133 : 2007) 5 性能の規定による。なお、小型鉄蓋の荷重たわみ性は、1号鉄蓋の規定を適用するものとする。

6 構造、形状及び寸法

6-1 構造及び形状

- a) 蓋と受枠との接触面は、機械加工して急勾配受けとし、蓋のがたつきを防止できる構造とする。なお、こう配は衝撃による蓋の飛び上がりを防止できる角度とする。
- b) 蓋と受枠とは、蓋の逸脱防止のため蝶番にて連結した構造とする。
- c) 蓋の表面模様は、表2に規定する文字及び記号を入れ、別図のとおりとする。ただし、蓋製作上、模様を修正する必要がある場合は、修正が最小限となるようにすること。
- d) 蓋は、雨水及び土砂の流入をできるだけ防止するため、開閉器具用穴に閉そく蓋を取り付けた構造とする。
- e) 1号鉄蓋の受枠とボックスの上部壁とは、ボルトにて繫結できる構造とする。
- f) 消火栓用鉄蓋は、取手を取り付けた構造とすることができる。なお、取手を取り付けた構造の蓋は、a) 及びd) の規定を適用しないものとする。
- g) 空気弁用鉄蓋は、蓋上面に空気抜き穴を設けることができる。

表2 文字及び記号等

種類	文字①	文字②	記号
1号・小型	空気弁	広域水道	下記参照
	消火栓	駐車禁止	下記参照
	消火栓	-	下記参照

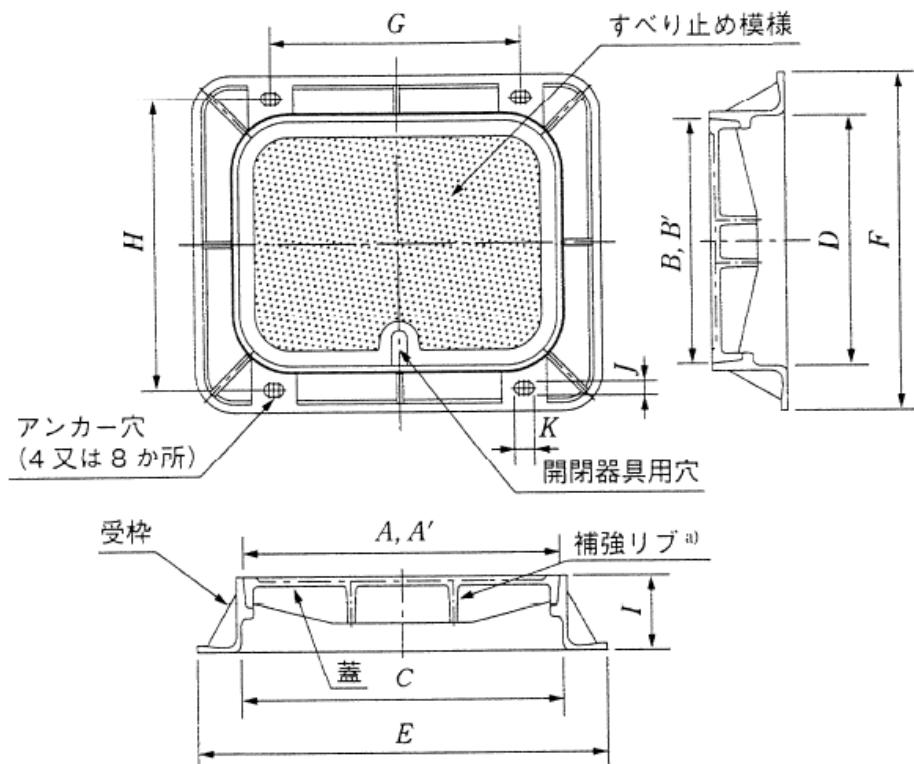
※記号については次のとおりとする。



6-2 寸法

鉄蓋の主要寸法は、表3による。

表3 鉄蓋の主要寸法



単位:mm

種類	A,A' (参考)		B,B' (参考)		C		D		E		F	
	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差
1号	530	±0.3	430	±0.3	500	±3.5	400	±3.1	620	±3.5	520	
小型	434		324		440		330		560		450	±3.5
種類	G		H		I		J		K			
	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差		
1号	530	±3.5	430	±3.5	100	±2.2	22	±1.6	40	±1.8		
小型	-	-	-	-								

注^{a)} 蓋の補強リブを設けた場合を示す。

備考1. A、Bは蓋の外径寸法、A'、B'は受枠の内径寸法を示す。

備考2. C、Dは、受枠のフランジ部の内法寸法であり、有効開口断面とは異なる。

備考3. ボックスと緊結するボルトについては、JIS B 0205-4のM16を標準とする。

7 外観

鉄蓋の外観は、日本水道協会規格 (JWWA B 133 : 2007) 7 外観の規定による。

8 塗料

鉄蓋の塗料は、日本水道協会規格（JWWA B 133 : 2007）8 塗料の規定による。

9 材料

鉄蓋の材料は、日本水道協会規格（JWWA B 133 : 2007）9 材料の規定による。

10 試験方法

試験方法は、日本水道協会規格（JWWA B 133 : 2007）10 試験方法の規定による。なお、小型鉄蓋の荷重たわみ試験及び耐荷重試験は、1号鉄蓋の規定を適用するものとする。

11 検査の実施

11-1 形式試験

形式試験は、鉄蓋の種類ごとに製造業者の製作図、製作仕様書及び箇条6～箇条9、並びに箇条12の規定に適合していることを確認した上で、箇条10の試験を行い、箇条5の規定に適合しなければならない。

なお、製造業者は、試験結果を記録、保存し、本企業団の要求がある場合は提出しなければならない。

11-2 製品検査

製品検査は、性能、構造、形状、寸法、外観、材料及び表示について行う。

11-3 検査費用の負担

検査に供する製品及び検査費用については、製造業者の負担とする。

12 表示

蓋の裏面には、製造業者の責任表示として次の事項を鋳出し、又は容易に消えない方法で表示しなければならない。

- a) 材料記号（FCD700 等）
- b) 製造年又はその略号
- c) 製造業者名又はその略号

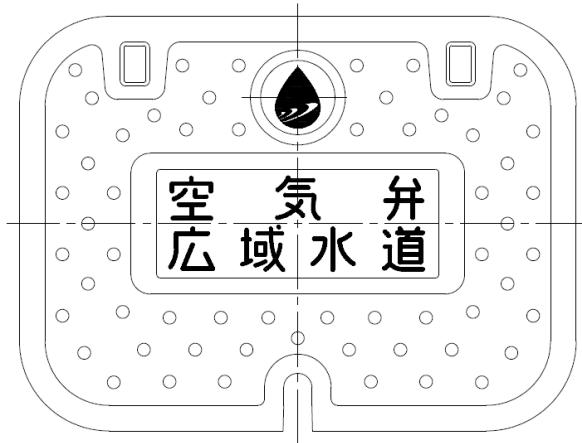
13 製造

鉄蓋は、日本水道協会検査工場に登録された工場において製造するものとする。

14 疑義

本仕様書に定めのない事項については、監督職員と協議し、その指示によること

別図（参考図）



※「駐車禁止」の文字の表示可

(1号・小型)

消火栓ボックス材料仕様書

第1条 総則

本仕様書にて納入する部材は、主として管路もしくはそれに準ずる箇所に設置されるもので、製作前には本企業団職員に承認図を提出し、承認を得てから製作すること。

第2条 仕様

消火栓ボックス材料の仕様は、下表のとおりとする。

項目		消火栓ボックス材料（調整リング）
①	種類及び数量	調整リング 2個
②	規格	角型1号 H=50

項目		消火栓ボックス材料（上部壁）
①	種類及び数量	上部壁 2個
②	規格	角型1号 200A

項目		消火栓ボックス材料（中壁部）
①	種類及び数量	中壁部 4個
②	規格	角型1号 100B

項目		消火栓ボックス材料（下壁部）
①	種類及び数量	下壁部 2個
②	規格	角型1号 400CN

項目		消火栓ボックス材料（底板）
③	種類及び数量	底板 2個
④	規格	角型1号

第3条 本仕様書に定められていない事項については、本企業団職員と詳細打合せの上決定すること。